

日本経済はどこに行くのか

早稲田大学大学院教授
川本裕子

- * 既得権益を恐れない政治を
- * 民間部門に覚醒の兆し
- * 今年の株主総会で感じたこと
- * 道路にみる相変わらずの既得権益
- * 宇宙予算問題と歴史観
- * 国債格下げの警鐘
- * なでしこジャパンのすばらしさ
- * メディアに欠ける合理的思考
- * 求められる既成概念からの脱却
- * 「想定外」を軽々に言うべきでない



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日はおなじみの川本裕子先生においていただきました。一昨年は鳩山内閣の出来た頃、去年は菅内閣が出来た当日でしたけれども、今度には野田内閣ということで妙にタイミングが合っています。当初は川本さんも民主党政権誕生にちょっと期待をかけておられましたけれども、その期待はほとんど消えて、今日は厳しいお話があるかもしれません。レジュメを拝見すると、後ろのほうへ向かって期待が膨らんでまいりますが、今日もやはり直球を投げ込んでいただけだと思います。

講演とは直接関係ないんですけども、川本さんの最近の本をご紹介します。『親子読書のすすめ 忙しくて毎日続けたい幸せな

習慣』がそれですが、これはとてもいい本で、東洋経済の書評欄でも推奨したんですね。若い世代にプレゼントされたらそうとう株が上がるだろうと思います。それでは川本さん、よろしくお願いします。（拍手）

川本 こんにちは。川本裕子でございます。どうぞよろしく申し上げます。今日はまたこのようなお席でお話しさせていただけることになりました。たいへんありがたく思っております。「親子読書」を紹介していただき、ありがとうございます。ぜひ一度ご覧いただければと思います。いつも経済の話をするときはこの辺にしわを寄せて話しているんですけども、にこやかな親子の読書の話ですので、お気に留めていただければと思います。